

中央区地域公共交通会議及び交通戦略部会について

1 趣旨

本区では平成21年12月の中央区コミュニティバス「江戸バス」の導入にあたり、地域公共交通会議を設置し、関係行政機関、バス事業者、地域住民等の参加をいただき、バスの運行ルート、運行時間、運賃等についての検討を行った。また、運行開始後の平成22年度も同会議を開催し、運行実績や利用者の要望に基づき検討を行った結果、平成23年1月に一部運行ルートの見直し等を実施したところである。

本会議においては、昨年度に引き続き、運行開始後の利用者実績や今年度実施した利用者アンケート調査の結果などに基づき、江戸バスの利用者ニーズへの対応等運行全般についての検討、見直しを行うことにより、さらに江戸バスが地域の足として定着することを目指すものである。

一方、本区では現在全国トップクラスの人口増加率を記録しており、特に臨海部を中心に今後も人口増加が予想されている。そのため、こうした定住人口の増加を背景に一部地域において通勤時間帯を中心に公共交通が飽和状態になるなど、交通インフラの整備が大きな課題となっている。さらには、今後の高齢社会における快適な移動手段の確保や環境負荷の低減を図った低炭素社会への移行など、新たな交通問題への対応が求められている。

こうした課題に的確に対応していくためには、今後の中央区の交通対策について中長期的な視点に立った、まちづくりと一体となった総合的な交通計画、交通戦略が必要である。そのため、本会議に部会を設け、これらの問題についての具体的な検討を行うこととした。

あわせて、江戸バスの運行及び交通計画等について専門的立場からご助言いただけるように本会議の構成員に学識経験者を加えることとした。

2 会議の構成

別紙「構成員名簿」のとおり